



西有田中学校だより
第5号 (2025.5.28)
文責：中尾恵子

至誠一貫

Time is Money!

来週火曜日は「時の記念日」です。西暦 671 年に天智天皇が唐から伝えられたという漏刻（ろうこく・水時計）を建造し、太鼓や鐘を打って時を知らせました。この日が現在の太陽暦に直すと 6 月 10 日だったという故事に基づき、**時間の大切さや時間を守ることを意識することを目的**として、今から 100 年ほど前に制定された記念日です。

早いもので、1 学期の中間に差し掛かりました。18 日からの中間テストが終われば、月末に地区中体連を控える時期ですね。

さて、何事にも「変わり目」は付きもので、生徒たちの学習内容（現行学習指導要領）も約 10 年に 1 回のペースで改訂されます。現行は 2016 年改訂し、2017 年に告示された学習指導要領に基づいた教育内容で、**2030 年を想定して作成**されています。

学習指導要領が求める力とは？

社会の変化が激しく、未来の予測が困難な時代の中で、子供たちには**変化を前向きに受け止め、社会や人生を人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしていくことが期待**されています。学校で学ぶことは、社会と切り離されたものではなく、社会の変化を見据えて、子供たちがこれから生きていくために必要な資質・能力を身に付ける必要があります。

学習指導要領で育む資質・能力とは、「**知識及び技能**」「**思考力、判断力、表現力など**」「**学びに向かう力、人間性など**」の 3 つの柱です。

教育課程全体や各教科などの学びを通じて「**何ができるようになるのか**」という観点から、「知識及び技能」は習得した個別の知識を既存の知識と関連付けて深く理解し、**社会の中で生**

きて働く**知識**となるものも含んでいます。「知識及び技能」の使い方は、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」など、学んだことを社会や人生に生かそうとする「**学びに向かう力、人間性など**」を含めた「**資質・能力**」を、一体的に育成するものです。

これからの社会で生き抜ける人材とは？

- ①もし、あなたが経営者（社長）だったら、「**どのような人（材）**」を雇いたいですか？
 - ②具体的に「**何**」ができれば採用しますか？
 - ③採用するときに、どのようにして「**見分け**」ますか？
- ★難しく考え過ぎずに、是非御家庭で話し合ってください。

不易（ふえき）と流行（りゅうこう）

これまでの教職生活で（関りの薄濃はありますが）出会った子供は 2 万人近くで、最初の教え子の年齢は 48 歳頃になります。その子供たちから多くのエネルギーをもらい、現在の私があります。現在は、グローバル化やスマートフォンの普及、ビッグデータや人工知能（AI）の活用などによる技術革新が進み、10 年前では考えられない激しい変化（流行）は今後も続いています。人口減少とロボットの台頭と参入で、映画の「ターミネーター」（1985）のような時代が近くまできているのではと思ったときに、**「人間としてしかできないこと（不易）は何なのか**」を考えるときがあります。中学校の延長線上に社会があり、中学校は通過点でしかありません。その通過点で「**何を身に付けて、何ができる**」ようになるのか…時間はあるようでないかもしれません。